

## 2. リオ・テイント社 (Rio Tinto plc)

### 1. 企業概要

本社 <sup>1</sup>	Rio Tinto plc : 英国・ロンドン Rio Tinto Limited: 豪州・メルボルン
主要事業〔鉱種〕	非鉄金属鉱山、ダイヤモンド、石炭、工業原料、鉄鉱石 〔Cu,Zn,Pb,Au,Ag,,Al,Ni,Ti,Mo,鉄鉱石,ダイヤモンド,ホロン,石炭,酸化ウラン〕
従業員数	33,040 人(2004 年末)
決算日	12 月末日
主要関連会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Comalco Ltd.: 100%(コマルコ)</li> <li>・Energy Resources of Australia Ltd.: 68.39%(豪、エナジー・リソース社)</li> <li>・Hamersley Iron Pty Ltd.: 100%(ハマスレー社)</li> <li>・Palabora Mining Company Ltd.: 49.2%(パラボラ・マイニング社)</li> <li>・Kennecott Holding Corporation: 100%(ケネコット・ホールディング社)</li> <li>・Minera Escondida Ltda; 30%(ミネラ・エスコンディータ社)</li> <li>・Freeport-McMoRan Copper &amp; Gold Inc.: 11.8→0%(FCX 社)</li> <li>・Rio Tinto Zimbabwe Ltd.: 56.04→0%(リオ・テイント・ジンバブエ社)</li> <li>・Lihir Gold Ltd.: 14.46→0%(リヒール・ゴールド社)</li> </ul>

### 2. 財務状況 (mUS\$)

	年度	2004	2003	2002
売上高 Gross turnover (including share of JV and associates) 〔①〕		14,135	11,755	10,828
当期利益 Profit for the financial year (net earnings) 〔②〕		2,813	1,508	651
利益率 〔③=②/①〕		19.9%	12.8%	6.0%
資産 Total assets		25,711	24,081	20,204
流動資産 Current assets		5,053	4,891	4,372
負債 Total liabilities		13,127	14,044	12,742
流動負債 Current liabilities		3,395	4,334	5,340
株主資本 Equity Shareholders' funds		12,584	10,037	7,462
探鉱費 Exploration Spending Totals ※		122.0	77.0	92.0

※探鉱費は Major Company Exploration Profile (Metals Economics Group 2005)による。

### 3. 主要鉱産物の生産状況 〔※鉱山名(所在国,権益比率):生産量は権益分〕

	年度	2004	2003	2002	'04 年の世界シェア
<b>銅鉱 (kt)</b>		<b>753.1</b>	<b>867.0</b>	<b>887.1</b>	5.2%(第 6 位)
Escondida (チリ,30%)		362.1	297.8	226.3	
Bingham Canyon (米,100%)		263.7	281.8	260.2	
Palabora (南ア,49.2%)		26.8	25.8	25.7	
Northparks (豪,80%)		24.0	21.7	30.7	
Neves Corvo (ポルトガル,49→0%)		23.0	38.0	37.8	※04 年 6 月売却
Grasberg JV (インドネシア,40%)		48.0	108.7	148.0	
Grasberg FCX (インドネシア,11.8→0%)		5.5	84.5	107.5	※04 年 3 月売却
Alumbreira (アルゼンチン,25→0%)			8.7	50.9	※03 年 3 月売却
<b>銅地金 (kt)</b>		<b>332.6</b>	<b>349.1</b>	<b>416.9</b>	2.1%(第 17 位)
Kennecott Utah Copper (米,100%)		246.7	230.6	293.7	

<sup>1</sup> Rio Tinto Group は「2 本社体制 (Dual Listed Company)」を敷いているが、実質的な本社機能はロンドンに本社を置く Rio Tinto plc にある。

Escondida SX-EW (チリ,30%)	45.6	44.3	41.6	
Palabora (南ア,49.2%)	33.2	36.1	40.2	
Atlantic Copper (スペイン,11.8→0%)	7.0	38.1	41.5	※04年3月売却
モリブデン (kt) Bingham C.	<b>6.8</b>	<b>4.6</b>	<b>6.1</b>	4.5%(第4位)
亜鉛鉱 (kt)	<b>73.8</b>	<b>113.0</b>	<b>94.7</b>	
Greens Creek (米,70.3%)	44.1	48.5	46.7	※04年6月売却
Zinkgruvan (スウェーデン,100→0%)	29.7	64.5	48.0	
鉛鉱 (kt)	<b>25.1</b>	<b>47.6</b>	<b>40.4</b>	
Greens Creek (米,70.3%)	13.9	15.8	15.7	
Zinkgruvan (スウェーデン,100→0%)	11.2	31.8	24.7	※04年6月売却
金鉱 (t)	<b>48.3</b>	<b>84.9</b>	<b>97.5</b>	2.2%(第10位)
Cortez/Pipeline (米,40%)	13.1	13.5	13.5	
Bingham Canyon (米,100%)	9.6	9.5	12.8	
Kelian (インドネシア,90%)	9.2	13.1	15.1	
Morro do Ouro (ブラジル, 51→0%)	3.0	3.2	3.6	※04年12月売却
Lihir (PNG,16.3→14.5('03.11)→0%('05.11))	2.7	2.7	3.1	※05年11月売却
Grasberg JV (インドネシア,40%)	2.6	22.5	20.6	
Escondida (チリ,30%)	2.0	1.7	1.2	
Northparks (豪,80%)	2.0	1.2	1.0	
Greens Creek (米,70.3%)	1.9	2.2	2.2	
Rawhide (米,51%)	0.8	1.0	1.3	
Barneys Canyon (米,100%)	0.7	1.1	2.3	
Grasberg FCX (インドネシア,11.8→0%)	0.4	11.0	11.0	※04年3月売却
Rio Tinto Zimbabwe (ジンバブエ,56.04%)	0.2	0.4	0.7	
Alumbraera (アルゼンチン,25→0%)		1.0	5.8	※03年3月売却
Peak (豪,100→0%)		0.6	3.0	※03年3月売却
Others	0.2	0.2	0.2	
金地金 (t) Kennecott Utah C. (米,100%)	<b>9.3</b>	<b>9.6</b>	<b>15.2</b>	
銀鉱 (t)	<b>461</b>	<b>570</b>	<b>535</b>	2.5%(第10位)
銀地金 (t)	<b>104</b>	<b>92</b>	<b>126</b>	
ニッケル鉱 (kt) Fortaleza(ブラジル,100%)		<b>6.0</b>	<b>6.3</b>	※04年1月売却
ニッケル地金 (kt) Empress(ジンバブエ,100%)	<b>1.6</b>	<b>3.5</b>	<b>3.6</b>	
二酸化チタン (kt)	<b>1,192</b>	<b>1,192</b>	<b>1,274</b>	
錫 (t) Neves Corvo(ポルトガル,49→0%)	<b>59</b>	<b>100</b>	<b>169</b>	※04年6月売却
ボーキサイト(kt)	<b>12,828</b>	<b>12,316</b>	<b>11,724</b>	1.3%(第16位)
アルミナ(kt)	<b>2,231</b>	<b>2,014</b>	<b>1,947</b>	
アルミニウム地金 (kt)	<b>836.5</b>	<b>816.6</b>	<b>794.1</b>	1.2%(第11位)
鉄鉱石 (kt)	<b>107,757</b>	<b>102,613</b>	<b>90,951</b>	
酸化ウラン:U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> (t)	<b>5,974</b>	<b>5,158</b>	<b>4,955</b>	8.0%(第5位)
ホウ素 (B <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ) (kt)	<b>565</b>	<b>559</b>	<b>528</b>	
ダイヤモンド(k carats)	<b>25,202</b>	<b>33,272</b>	<b>33,620</b>	
原料炭(kt)	<b>6,760</b>	<b>2,311</b>	<b>1,925</b>	
一般炭(kt)	<b>150,677</b>	<b>146,439</b>	<b>147,225</b>	

#### 4. 沿革

現在の Rio Tinto Group は、出身母体を同じくする RTZ Corp plc 社と CRA Ltd.社の合併により誕生した RTZ-CRA 社が、1997年6月に設立したものである。非鉄金属、鉄鉱石などの金属鉱業のみならず、工業原料、石炭、ダイヤモンドにも大きなシェアを持つ総合資源メジャーの一つである。

- 1873年・スペイン Huelva 州で Rio Tinto 鉱山の再開発を目的に、英国の銀行家などによって Rio Tinto Co. Ltd.社が設立された。同社は Huelva 州で鉱山開発、製錬事業を展開するとともに鉱石運搬を目的とした鉄道経営にも乗り出し、一時は 14,000 人の従業員を抱える企業に成長した。
- 1905年・豪州 Broken Hill における亜鉛鉱石採掘を目的として Consolidated Zinc Corp.が設立され、後に豪州における最大の鉛・亜鉛生産者に成長した。
- 1954年・スペインにおける権益を処分し、カナダ及びナミビアでのウラン鉱山、南アでの銅鉱山経営に事業の基軸を転換した。
- 1960年・カナダにおけるウラン鉱石の生産を目的とし Rio Algom 社設立。
- 1962年・Rio Tinto Co. Ltd.社と Consolidated Zinc Corp.社は合併し、両社の事業を整理・再編して Rio Tint Zinc Corp. plc 社(1984年に RTZ Corp.plc 社と改称)及び Conzinc Riotinto of Australia Ltd.社(1980年に CRA Ltd.社と改称)が設立された。RTZ Corp. plc 社は London を拠点に、銅・石炭・ウラン・工業原料を対象として事業を展開した。
- 1989年・Kennecott Minerals 社(米)を買収して米国における銅、石炭事業を拡大した。  
・更に同年、BP Australia Holdings Ltd.社(英)が有する BP Minerals などの鉱業資産(BP Canada Inc.社を除く)を買収したが、これは英国企業同士では史上最高額(4,320 mUS\$)の買収劇であった。
- 1992年・RTZ Corp plc 社は Rio Algom 社の多数権益を放棄した。  
・一方、CRA Ltd.社は Melbourne を拠点に鉄鉱石、石炭を対象として事業を展開、さらに子会社の Comalco 社を通じたアルミニウム事業を行った。
- 1995年・12月、RTZ 社と CRA 社の株主は両社の株式全てを保有する持株会社の設立に合意。
- 1996年・1月、RTZ-CRA 社が設立された。合併当初より、同社は London と Melbourne に本社を置く「2 本社体制」を敷いた。
- 1997年・6月、その後の組織再編(地域制から鉱種制へ)に伴い社名が変更され、London に本社を置く Rio Tinto plc と Melbourne に本社を置く Rio Tinto Limited が誕生した。
- 2000年・8~10月、Rio Tinto Group は、豪州の大手鉄鉱石生産業者の North 社を 2.05bUS\$にて買収した。これにより Alumbreira 銅・金山(アルゼンチン,25%)を取得した。
- 2003年・3月、Alumbreira 銅・金山の権益を豪州の Peak 金鉱山と共にカナダの Wheaton River Minerals 社に 210mUS\$にて売却。  
・ジンバブエの Patchway 金山を GVM Metals 社(豪 Perth,当時 Golden Valley Mines 社)に 1bUS\$にて売却した。
- 2004年・1月16日、Fortaleza ニッケル鉱山(ブラジル,100%)を Votorantin Metals 社(ブラジル)に 80mUS\$で売却した。  
・3月30日、FCX 社(Freeport McMoran Copper & Gold 社。米国本社でインドネシアで Grasberg 銅山を経営)に所有していた 2393 万株(2003 年末時点 11.8%。2004 年加重平均 10.8%)を FCX 社に 882mUS\$にて売却した。  
・6月2日、Zinkgruvan 亜鉛鉱山(スウェーデン,100%所有)を売却した。  
・6月18日、Neves Corvo 銅・錫鉱山(ポルトガル,49%)を売却した。  
・12月31日、Morro do Ouro 金鉱山(ブラジル,51%)を売却した。
- 2005年・6月と9月、役員会を中国で開催。  
・7月、Hope Downes 鉄鉱山(西豪州)の 50%権益を取得。生産開始は1年前倒しで 2007 年とすること、2005 年の鉄鉱石生産見込 141mt から 190mt に拡大する計画を発表。  
・10月、2005 年度の探鉱予算額は 195mUS\$に増額されることが発表された。(ダイヤモンドの 14%を差引いた額は 168mUS\$)  
・10月1日、Escondida Norte(権益率 30%)の生産開始。  
・11月、アルミの中国需要拡大を睨んで生産能力の 600kt増強計画を発表。  
・11月30日、Lihir 金山(PNG,14.46%)を Citigroup(シティ銀行グループ)に 295mUS\$にて売却することを発表した。

## 5. 事業内容

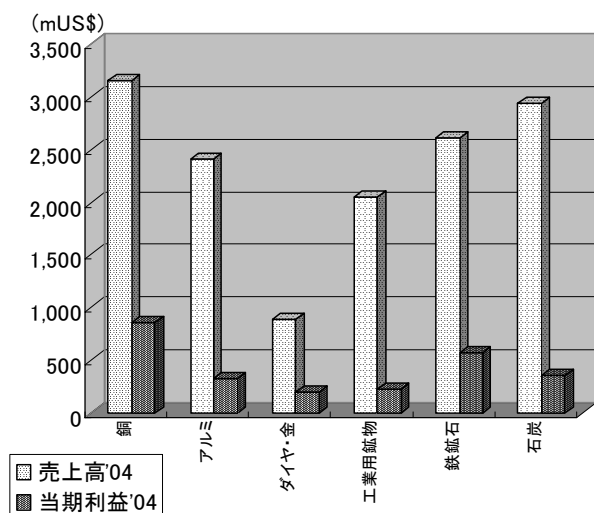
Rio Tinto 社は、①鉄鉱石、②工業原料鉱物、③銅、④アルミニウム、⑤エネルギー、⑥ダイヤモンド・金の 6 グループで事業展開している。さらに、これらのカテゴリーとは別に探鉱グループと技術グループがあり、横断的に幅広く活動している。

同社の大きな特色は広範な製品を世界の広範な地域で生産していることで、かつ大規模で寿命の長い鉱床の開発を目指している。

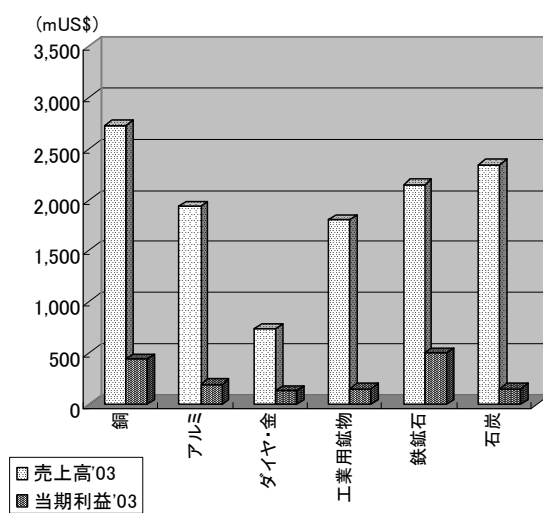
この方針に従って、資源の品位が低下したり、寿命が短くなってきた鉱山は次々と売却されて来っており、これによって得られた資金は新規案件に投入されている。

2004 年の間に売却された主要権益・事業には、Freeport McMoran Copper & Gold 社に所有していた 2393 万株、スウェーデンの Zinkgruvan 亜鉛鉱山、ポルトガルの Neves Corvo 銅・錫鉱山及びブラジルの Morro do Ouro 金山がある。

一方、今後とも需要が見込まれる分野では、鉄鉱石、石炭(原料炭)及びダイヤモンドを中心に、大規模・長寿命の案件に重点的な投資を行っており、2005～06 年には 60bUS\$を新規プロジェクトに投入する計画である。



2004 年の売上高と当期利益(分業別)



2003 年の売上高と当期利益(分業別)

### (1) 銅

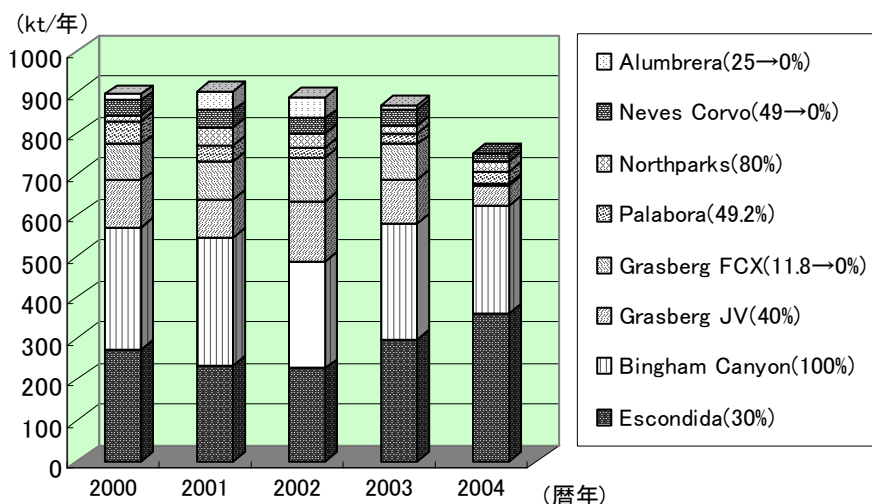
2004 年度の銅鉱業資産は、Escondida(チリ,30%)、Bingham Canyon(米 Utah 州,100%(子会社 Kennecott Utah Copper 社)、Palabora(南ア, 49.2%)、Neves Corvo(ポルトガル,49.2%)、Northparkes(豪,80%)及び、FCX(Freeport McMoran Copper and Gold)社の 2393 万株と、FCX 社が操業する Grasberg 銅山(インドネシア)の増産 JV の 40%権益である。副産物である金を含有する銅の合計販売額は、2004 年の売上高の約 20%を占める。

RioTinto は、権益所有率が高く、生産量の大きい大型案件を残し、そのほかは次のとおり売却による整理を行いつつある。

- 2004 年3月 30 日付けで 1995 年以来所有していた FCX 社の株式は全て FCX 社に売却(882 mUS\$)した。
- 2004 年 6 月、Neves Corvo 銅・錫山(ポルトガル)の粗鉱品位が低下しつつあったことから、Rio Tinto 及び EDM (Empresa de Desenvolvimento)社は、同鉱山を運営する Somincor 社(Rio Tinto の権益 49%、ポルトガル政府系 EDM 社 51%)の処分を 2000 年に発表し、売却先を探していたが、EuroZinc Mining Corp.(ハンクーパー)に 128mEuro(156mUS\$:RioTinto 分 58mEuro)にて売却した。
- なお、2000 年8～10 月の North 社買収により以降保有していた Alumbreira 銅・金山(アルゼンチン)

の権益 25%は、2003 年 3 月 17 日付けで、Wheaton River Minerals 社(ハンクーバー)に Peak 金山(豪,100%)と共に 210mUS\$にて売却済みである。(2004 年4月、Goldcorp 社(ハンクーバー)は Wheaton River Minerals 社を買収・合併したため、現在の Alumbreira の権益状況は、Xstrata50%, Goldcorp37.5, Northern Orion12.5%となっている。)

地金の生産では Palabora 製錬所、Escondida 鉱山(SX-EW)のほか、米国 Utah 州では Kennecott Utah Copper 社が操業する Garfield 製錬所、スペインでは Atlantic Copper 社を通して Huelva 製錬所に権益を保有して銅地金を生産してきたが、Atlantic Copper の権益(2003 年末時点 11.8%)も FCX 社株の 2004 年3月 30 日付け売却により放棄している。



Rio Tinto: 銅生産量の鉱山別推移(2000~04 年)

2004 年 権益保有銅山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位 (%)	採掘タイプ	生産量(kt) (権益分)
Escondida (エスコンディータ,チリ) ※	30	2,735	0.87	OP	1,207 (362)
Bingham Canyon (ビンガム・キャニオン,米)	100	659	0.57	OP	264
Grasberg JV (グラスバーグ,インドネシア) ※	40	2,769	1.09	OP,UG	120.0 (48.0)
Grasberg FCX (グラスバーグ,インドネシア) ※	11.8→0				396.4 (5.5)
Neves Corvo (ネヴェス・コルボ,ポルトガル)	49→0	19.1	4.91	UG	47 (23)
Northparkes (ノース・パークス,豪)	80	52	1.12	OP,UG	30 (24)
Palabora (パラボラ,南ア)	49.2	201	0.68	UG	54 (27)

※Rio Tinto の JV 鉱山生産量の数値は、オペレーター各社発表の数値より大きめであるが、粗鉱中金属量の可能性が考えられる。Minera Escondida 社のアニュアルレポートによれば Escondida の 2004 年生産量は 1,195.158t(内訳:精鉱中含量 1043.041t+SX-EW カソード 152.117t) FCX 社のアニュアルレポートによれば Grasberg の 2004 年生産量は 498.3kt で Rio Tinto の引取量 46.3kt となっており、数値が合致しない。

- チリ Escondida Norte 銅鉱床の開発が 2003 年 6 月に開始され(初期投資額 400 mUS\$)、2005 年 10 月 1 日付けで生産が開始された。Escondida 全体として 08 年末までに年産 1,200 kt 以上の生産を維持することが可能となる。
- Escondida には、Escondida Norte に加えて 2004 年に承認された本山及び Norte の低品位硫化銅を対象としたリーチング・SX-EW プロジェクトがある。初期投資額 870 mUS\$で、2006 年後半から 25 年間に亘り年産 180 kt のカソードを生産する計画である。

- ・ 米国の Bingham Canyon 銅山の露天掘拡張が 2005 年 2 月承認され、これによりメインライフは 2017 年まで延長される見込みである。鉱山・選鉱・運搬設備を中心に 170 mUS\$ が投下される。
- ・ 豪州 New South Wales 州の Northparkes 銅・金鉱山は 2000 年の North 社買収で Alumbreira と共に取得したが、2001 年 1 月に決定された新鉱体の開発は 100 mUS\$ により 2004 年に完成し坑内掘生産が開始されている。同鉱山は現状生産ベースで 13 年のライフが期待される。
- ・ 南アの Palabora 鉱山では、2003 年、投資額 465mUS\$ により露天掘からブロックケービング法による坑内採掘に切り替え、同年 11 月にフル操業となった。

2004 年権益保有銅製錬所及び SX-EW 銅山における地金生産

オペレーション名	権益(%)	生産量 (kt) (権益分)
Atlantic Copper (アトランティック・カッパー, スペイン)	13.1→0	58.4 ( 7.0) ※
Garfield (Kennecott Utah C., ガーフィールド, 米)	100	246.7
Palabora (パラボラ, 南ア)	49.2	67.5 (33.2)
Escondida SX-EW (エスコンディダ, チリ)	30	152.1 (45.6)

※注: Rio Tinto が売却する 2004 年 3 月までの権益分生産量。

(2) 金・その他

① 金

2004 年時点では Lihir (PNG)、Morro do Ouro (ブラジル)、Kelian (インドネシア) に権益を有し、米国では子会社 Kennecott Minerals 社が Cortez (Nevada) と Rawhide (Nevada) に、子会社 Rio Tinto Zimbabwe が Renco に権益を保有していた。また、上記の Bingham Canyon、Escondida、Grasberg といった銅山及び、Greens Creek 亜鉛鉱山からも金を生産している。なお、前述のとおり豪州の Peak 鉱山は Wheaton River Minerals 社(その後合併により現 Goldcorp 社)に売却されている。

2004 年主要権益保有金山による鉱石生産

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt)	品位 Au (g/t)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Bingham Canyon (ビングナム・キャニオン, 米)	100	659	0.32	OP	9.6
Cortez Pipeline (コルテス・パイプライン, 米)	40	293	1.57	OP	32.7 (13.1)
Grasberg JV (グラスバーグ, インドネシア) ※	40	2769	0.98	OP, UG	6.4 (2.6)
Grasberg FCX (グラスバーグ, インドネシア) ※	11.8→0				42.8 (0.4)
Kelian (ケリアン, インドネシア)	90	—	—	OP	10.2 (9.2)
Lihir (リヒール, PNG)	14.5→0	188	3.48	OP	18.6 (2.7)
Morro do Ouro (モロ・ド・オーロ, ブラジル)	51→0	—	—	OP	5.8 (3.0)
Northparkes (ノース・パークス, 豪)	80	4.6	0.53	OP	2.5 (2.0)
		47.2	0.46	UG	
Rawhide (ローハイト, 米)	51	2.1	0.46	OP	1.6 (0.8)
Rio Tinto Zimbabwe (ジンバブエ)	56→0	0.3	6.93	UG	0.3 (0.19)
Others (その他)	—	—	—	—	0.4 (0.22)

- ・ Grasberg (インドネシア) の状況は銅の項で前述のとおり。
- ・ Kelian (インドネシア) での鉱石採掘は 2003 年に終了しており、貯鉱からの地金生産も 2005 年 2 月終了している。
- ・ 2004 年 12 月末にブラジルの Morro do Ouro 鉱山に保有していた 51% 権益を Kinross Gold 社 (カナダ) に 260mUS\$ で売却している。

- また、ジンバブエの Rio Tinto Zimbabwe は 2004 年 7 月 8 日付、法人改革の結果、通常の株式保有は終えたが、金・ニッケル資産中に減じられた現金資本を 10 年間維持するとしている。

## ② 亜鉛・鉛

### 2004 年主要権益保有亜鉛・鉛鉱山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt)	品位 (% Au:g/t)	採掘タイプ	生産量(kt, Au:t) (権益分)
Greens Creek (グリーンズ・クリーク, 米)	70.3	7.2	3.94 Pb	UG	20 (13.9) Pb
			10.2 Zn		63 (44.1) Zn
			3.80 Au		2.7 (1.9) Au

- 2004 年 6 月、Zinkgruvan 鉱山 (スウェーデン) の権益 100% を South Atlantic Ventures 社 (カナダ) に 106 mUS\$ にて売却した。同鉱山は、2000 年に North 社を買収した際にその一貫として獲得したものである。

## ③ ニッケル

### 2004 年主要権益保有ニッケル鉱山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt)	品位 Ni (%)	採掘タイプ	生産量 (kt)
Fortaleza (フォルタレサ, ブラジル)	100	1.1	2.12	OP	5.8

- 2004 年 1 月、Fortaleza 鉱山は、ブラジルの Votorantim Metals 社に 80 mUS\$ にて売却された。

## 6. 探鉱活動

### (1) 概要

Rio Tinto Group の探鉱活動は London 本社が統括し、地理的に世界を北米事務所 (米 Salt Lake City)、南米事務所 (Santiago)、欧州・アフリカ事務所 (英 Bristol)、豪州・東南アジア・大洋州事務所 (豪 Perth) の 4 地域に分け、主要な鉱床の探鉱活動を行っている。また、プロジェクト発掘チームが世界的に案件の発掘やジュニアカンパニーとの提携を行っている。探鉱部門には 191 名の地質技師、物理探査技師を含め、総勢 880 名の人員を擁している。

### (2) 対象鉱種

2004 年の探鉱費は前年比 60 mUS\$ 増の 193 mUS\$ であった。2004 年末現在 Rio Tinto は世界の 30 ヶ国で銅、ダイヤモンド、ニッケル、金、ボーキサイト、鉄鉱石、石炭等を中心とする広範な鉱種を対象として探鉱活動を行っている。

### (3) 対象地域・探鉱段階

中南米主体で米国、豪州、その他で探鉱が実施されている。探鉱段階は、鉱山周辺探査よりもグラスルーツや精査・F/S 段階に重点が置かれている。

### (4) 最近の動向

探鉱段階から次の経済性評価段階に移行されている主要な探鉱プロジェクトは次のとおりである。

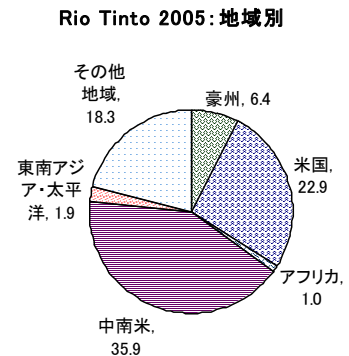
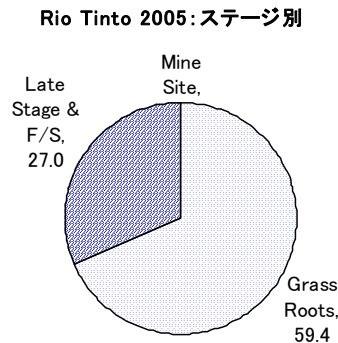
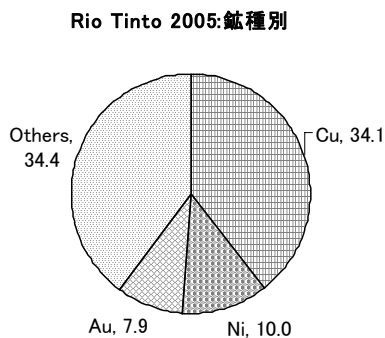
- Eagle ニッケル・銅鉱床 (イーグル, 米 Michigan 州, Kennecott Exploration 100%)  
資源量 (Measured + Indicated) 5mt、品位 Ni 3.7%、Cu 3.1%
- Resolution 銅・金鉱床 (レゾリューション, 米 Arizona 州, 55% (パートナーは BHP Billiton, 49%))  
資源量 1000mt、品位 Cu 1.5%、銅量 15mt (MEG データ)

- La Sampala ニッケル・銅鉱床 (ラ・サンパラ, インドネシア)  
資源量 (Indicated) 320mt、品位 Ni1.43%、Cu0.1%

そのほかに、Potasio Rio Colorado カリ鉱床 (ポタシオ・リオ・コロラド, アルゼンチン)、Simandou (ギニア、鉄鉱石) などがプレ F/S 段階にある。

2004 年の探鉱活動状況は次のとおりである。

- ダイヤモンドの探鉱がカナダ、南ア、モーリタニア、ブラジル及びインドで続行されたが、幾つかはダイヤモンドを含有する Kimberlite パイプが発見され、経済性調査が続けられている。
- 銅の探鉱はトルコ、ペルー、チリ、アルゼンチン及び米国で継続されており、トルコとペルーでの試錐調査の結果は良好で、追加試錐を実施中である。
- 鉄鉱石、石炭及びボーキサイトの探鉱活動は、ここ数年に亘り強化されている。2005 年には 2 案件が担当グループに移行され、開発の検討が行われる
- 工業原料鉱物の探鉱も北・南米、欧州、東南アジア及びトルコで積極的に行われた。  
その他、豪州では Argyle 鉱山 (ダイヤモンド) 開発準備、米国では Boron 鉱山 (ホウ素) 及び、アルゼンチンでは Tincalayu 鉱山 (ホウ素) 周辺での探鉱など現存の鉱山の操業支援探鉱も行われた。



2005 年の探鉱予算状況: Rio Tinto [86.4mUS\$]

(出典: Major Company Exploration Profile (Metals Economics Group 2005))

※注: 総額 110.0mUS\$ からダイヤモンドの探鉱予算 23.6mUS\$ を差し引いた。